

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス リトルグリーンバード こくぼ教室		
○保護者評価実施期間	2026年1月12日		～ 2026年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2026年1月12日		～ 2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢の児童が、きょうだい児のような関わり合いができ、自分の気持ちの整理や社会性スキルを伸ばしていける場所となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人が介入しすぎず、子どもたちの横のつながりを大切にしている。</li> <li>・高学年は、未就学児の気持ちの育ちについて、自身の成長と重ね、他児への理解や受け入れる気持ちがあるため、年下児童に寄り添える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他教室との交流を積極的に図る。</li> <li>・地域資源の活用で、外での経験を重ねていく。</li> </ul>
2	福祉サービスと習い事・部活などの利用バランスがとれている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・習い事や部活に取り組む子どもたちの影響もあり、興味関心が広がっている。</li> <li>・地域での活動場があることで、交友関係を広げていける。</li> <li>・発表会や大会などがある時には、見学・応援に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様が写真や動画で記録したものを、他児にも見せて、外での取り組みをみんなで称賛していく。</li> <li>・福祉サービスで培った社会性や人間力などを外の環境で存分に発揮していただき、チャレンジしていける機会につなげていく。</li> </ul>
3	子どもたち主体で活動や立案したことを実践していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童ミーティングで子どもたちがやりたいこと、食べたいことなどの要望を聞いて、活動に取り入れていく。</li> <li>・イベントの案内ポスターを教室内に掲示・配布し、見通しや楽しさを可視化し、利用につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高学年がリードし、集団活動の考案、主としてまとめることなど、リーダー経験ができる。</li> <li>・祝日、長期休みで滞在時間が長い時に、外出経験、外食経験、クッキングなど、普段とは違う取り組みを導入し、「また行きたい」「楽しかった」「自信になった」などの気持ちの育ちにつなげていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	徒歩圏内の園や学校の受け入れが少ない。	・徒歩圏内の園や学校への周知がまだ弱い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣公園で出会う学童や小学生たちとの関わりで、リトルの周知につなげていく。</li> <li>・パンフレット配布で営業に行く。</li> <li>・相談員にリトルの取り組み内容や見学をアピールする。</li> </ul>
2	祝日の集客が難しい。	・家族の休みとかぶることが多く、家族と過ごしたい希望が多い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午前だけ、午後だけ、のように時間調整を提案しながらの利用促しをしていく。</li> <li>・子どもたち自身が立案したことを祝日に計画し、リトルへ来る理由付けを明確にしていく。</li> </ul>
3	保護者支援に対するアプローチ・助言・情報提供が弱い。	・モニタリングが自宅となったことで、関係機関が一同に集まり情報共有する場がなくなったことへの対応策が弱い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な家族会で、子どもたちの取り組み内容の共有、成長確認、卒業の見通しなどを共有していく。</li> <li>・他デイとの併用、習い事への移行について、他保護者からの情報を広報誌に載せ、配布する。</li> <li>・面談希望者には柔軟に対応し、現状確認や今後の見通し、取り組みなどについて共通理解を図る。</li> </ul>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	リトルグリーンバードこくぼ教室
------	-----------------

公表日 2026年3月25日

利用児童数

11名

回収数

9/11

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	2	・新教室にまだ行ったことない。	3月に内覧を兼ねた家族会を予定しています。写真では伝わりづらさがあったかと思いますが、ぜひご参加いただけたら嬉しいです。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	0	0	2		配置基準の児童指導員は満たしております。職員写真は、玄関に掲示しています。他教室交流で、多くの職員が入り出しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	1	0	4	・都度写真をもらっていますが、なかなか多忙で教室を見に行けておらず、広さはよくわからない。	活動スペースは広くなり、わかりやすい環境ではありますが、バリアフリー対応とはなっていません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1	0	1		活動スペースは広くなり、お子様の活動内容に応じて場所を分けています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1	0	0		お子様からの要望も積極的に取り入れたり、他教室交流や地域交流も積極的にを行い、固定化されない工夫をしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	0	0	2		他教室交流や、地域散策を通して、地域児童と活動する機会を積極的に設けています。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	1		契約時に説明する内容になっています。わからないことがありましたらいつでもお問い合わせください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	1	0		保護者同士の関わりや情報提供を目的に3月家族会を予定しています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	0	0	・モニタリング以外でも面談がしたい。 ・モニタリングが自宅を実施となったため、話をする機会が少なくなった。	電話やラインにてご対応をしていましたが、面談ご希望があればいつでも調整・実施いたします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	2	1	1		保護者同士の交流、お子様の成長と一緒に確認する家族会を3月に予定しています。きょうだい児へのイベントは未定ですが、きょうだい児のご相談はいつでもお受けいたしています。家庭訪問の実施も行っています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	1	・SNSを見ていないのでスミマセン。	Instagramや月間おたよりにて活動報告をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1		個人情報の取扱いには十分に気を付けています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	0	1		毎月配布する月間だよりにて月1避難訓練の周知・実施と、BCP訓練も行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	0	0	・やりたいことが広がっているため、リトル利用を渋ることがある。 ・面倒くさい、を覚えつつあり、家でゆっくりしたいという気持ちはある。	リフレッシュ日を設けていただいたり、お子様の気持ちに寄り添い利用の調整をしていただき、ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス リトルグリーンバードこくば教室			公表日	2026年3月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	運営基準通りの職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	児童にわかりやすい環境を整えています。自発的に動けるよう、静と動の活動はスペースを分けています。	教室に到着するまでに、階段があるため、バリアフリー対応にはなっていません。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	児童の送迎後、教室清掃をしています。活動状況を見ながら活動スペースを決めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	マットやカーテンで仕切ったり、テントを活用し、1人になれる空間を作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	朝の職員ミーティングで目的、目標を確認し、日々の療育の中で都度職員で振り返りを行っています。合同イベントを企画、実行した際は全員で振り返りをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎年実施している事業所評価の結果を共有し、改善点、工夫点について深堀しています。また送迎時や来所時にも保護者の意向を確認することで、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝の職員ミーティングや個別支援に関する意見交換、情報共有は行っています。面談を設けることで職員の取り組み姿勢や業務内容、進捗状況を確認し、タスクを視覚化しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	毎月、他教室職員が輪番で巡回し5S（安全衛生品管理パトロール）を実施しています。また、他教室職員がいつでも見学に来て気づきを展開しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月、リトル内勉強会を実施しています。外部研修も積極的に受講し、職員同士で水平展開しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	リトルグリーンバードのフェイスブック、インスタグラムにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	保護者、関係機関（併用デイ、相談員、園、学校）からの情報共有を行い、アセスメントを作成しています。ニーズや課題を確認した上で、個別支援計画書を立案しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援計画書の作成時以外にも、送迎時に聞いた保護者のニーズや児童の現状を職員同士で共有し、児童の選択肢を広げるための策を考えています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	毎日、児童各々の支援内容を記入し、モニタリング時期には振り返りし、進捗状況を確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	保護者からの聞き取りや保護者へ配布したアセスメントシートへ記入された内容を再度確認し、児童の行動観察にも活かしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	本人支援、家族支援、移行支援を個別支援計画書にも反映し、具体的な支援方法を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員が静と動の活動を考案するだけでなく、毎月児童からの意見を聞く場（児童ミーティング）にて要望や意見を、毎月の活動内容に取り入れています。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	曜日固定ではなく、利用児童に応じて活動内容のレベルやねらいを確認しながら設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別療育で、児童の要望や満足度を満たしたり、集中力や切り替えのスキルを習得しています。また集団療育では異年齢の動きを模倣しやすく、協力しあいがらできることをメリットとして組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	始業時の職員ミーティングにてその日の児童情報や活動内容、ねらい、目標、児童の課題について共通認識を図り、役割を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	口頭報告だけでなく、記録に残し進捗状況を確認しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	業務日誌や個別支援実施記録を活用し、記録に残し課題の達成状況や、児童の様子を確認し、次回の支援計画書作成の参考にしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	支援計画書の更新やモニタリングのタイミングで保護者や関係機関からの聞き取りを行い、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	自立支援活動、創作活動、地域交流、余暇の提供を組み合わせ支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	選択肢を提示・提案し、自身で選ぶことを練習、流れを作っています。また言葉がまだ未発達の児童でも選べるよう、指差して意思表示ができる視覚的教材も活用しています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、職員も同席することで全員が担当者会議へ参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	児童が通う園や学校、併用する児童デイとの情報共有を行っています。また、服薬をしている児童やアレルギー対応が必要な児童は、主治医と連携を図り、対策や対応について確認をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校からの公文（プリントや掲示物）を職員間で共有しています。保護者からお知らせをもらうことを基本としています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	相談員も交えながら、担当者会議にて事前情報の共有や依頼内容の確認などを行い、継続して支援が受けられるよう相互理解につなげています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	これまで対象となる児童はいなかったです。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	他教室や併用デイと連携・情報共有しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	公園、公民館、児童館に行き、地域交流しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	児童の最初の状況からどう変化してきているかを記録を見ながらモニタリング時に保護者と確認しています。また送迎時や電話相談、来所でのご相談も随時対応しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0		日頃の申し送りの中で関わり方などの助言・情報提供をすることはあるが、家族支援プログラムや家族向けの研修は行っていません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学、契約時、個別支援計画書の説明時に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	日頃からの申し送りや情報共有、モニタリング、家族会などを通して児童や家族の意向を確認しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	児童の現状確認と課題、目標について説明をし、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	待ちの姿勢ではなく、こちらから情報発信や問いかけをすることで、引き出す意識をして支援にあたっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	家族会を設け、保護者同士の横のつながりを作ることができました。この時、保護者限定参加にしたため、きょうだい同士で交流する機会はなかったです。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情対応責任者を配置し、即対応をしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	月間のお便りや、facebook・インスタグラムで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に個人情報の同意書を確認し、職員全員が慎重に取り扱っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個々に応じて拡大コピーやコミュニケーションアプリのラインを活用し、意思疎通や情報伝達のための配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	近隣大学の実習生やボランティアを積極的に受け入れています。また、近隣の飲食店とも連携を図りイベントの協力をお願いしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアルを策定しています、非常時を想定とした訓練を集団活動の一つとし、毎月実施しています。	訓練は実施しているが、具体的な内容やマニュアルを今後保護者に周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	職員全体研修で得た知識や訓練実施での気づきをBCPに反映しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	体験前には服薬状況や既往歴を事前に確認し、職員で共有しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	アレルギー持ちの児童がいるため、保護者に確認しながらおやつ提供を行っています。またエビイベント講習（実践）も職員全体で取り組んでいます。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全管理に必要な研修や訓練は行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	保護者に災害発生などにおける基準について文書を配布し、周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有し、今後の予防に役立てています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置し、研修を受けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束はしないという理念を職員間で共有しています。	契約時に身体拘束はしない方針であること、説明し、個別支援計画書にも記載しています。	